

# 給与支払報告書（個人別明細書）作成時の注意点

※定額減税に係る記載の仕方など、作成に当たっては国税庁ホームページに掲載される「令和6年分 給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」もご参照ください。

令和7年1月1日現在の住民登録のある住所(これ以前に退職した場合は退職日現在の住所)を記載してください。		個人番号を記載してください。	
支払を受ける者	住所 <b>(住民登録のある住所を記載)</b>	受給者番号 個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3	役職名 氏名 (フリガナ) <b>オオタワラ セイタ</b> <b>大田原 税太</b>
種別	支払金額 <b>4,000,000</b>	給与所得控除後の金額(調整控除後) <b>2,760,000</b>	所得控除の合計額 <b>1,760,000</b>
			源泉徴収税額 <b>21,000</b>
(源泉)控除対象配偶者の有無等	配偶者(特別)控除の額 老人 <b>380,000</b>	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く) 特定 老人 その他 <b>1 1</b>	障害者の数 特別 その他
有 従有	千 円	人 従人	人 従人
社会保険料等の金額	<b>400,000</b>	生命保険料の控除額 <b>100,000</b>	地震保険料の控除額 <b>20,000</b>
			住宅借入金等特別控除の額 <b>30,000</b>
(摘要) (前職)5/31まで (南)〇△工業 給与1,560,000円 社会保険料150,000円 源泉徴収税額 30,500円			
普F 令和7年3月31日退職予定			
生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	旧生命保険料の金額 <b>120,000</b>	介護医療保険料の金額
住宅借入金等特別控除の内訳	住宅借入金等特別控除適用数 <b>1</b>	居住開始年月日(1回目) <b>25年6月1日</b>	住宅借入金等特別控除区分(1回目) <b>住</b>
	住宅借入金等特別控除可能額	居住開始年月日(2回目)	住宅借入金等特別控除区分(2回目) <b>3,000,000</b>
(源泉・特別)控除対象配偶者	フリガナ <b>オオタワラ ハナコ</b> 氏名 <b>大田原 花子</b> 個人番号 <b>4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5</b>	配偶者の合計所得	国民年金保険料等の金額 基礎控除の額 <b>480,000</b>
控除対象扶養親族	1 フリガナ <b>オオタワラ タロウ</b> 氏名 <b>大田原 太郎</b> 個人番号 <b>5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6</b>	2 フリガナ 氏名 個人番号	3 フリガナ 氏名 個人番号
	3 フリガナ 氏名 個人番号	4 フリガナ 氏名 個人番号	4 フリガナ 氏名 個人番号
未成年者	外国人	死亡退職	災害者
本人が障害者	乙欄	本人が障害者	その他
特別	その他	専ら	ひとり親
勤労学生	中途就	退職	受給者生年月日
就職	年 月 日	元号	年 月 日
○	<b>6 6 1</b>	<b>昭和</b>	<b>52 3 3</b>
支払者	個人番号又は法人番号 <b>6789123456789</b>	住所(居所)又は所在地 <b>大田原市本町1-4-1</b>	氏名又は名称 <b>株式会社 △建設</b>
		支払者の法人番号もしくは個人番号を記載してください。	

所得者に前職があり合算して年末調整した場合は、摘要欄に前職の支払者名・支払金額・社会保険料・源泉徴収税額を必ず記載してください。

保険料の支払額を記入してください。(記載漏れが目立ちますので、必ず記載してください。)

住宅借入金等特別控除がある場合は必ず記載してください。

復興特別所得税を含めて記載してください。

生命保険の支払額とは異なりますので、年末調整の際によくご確認ください。

『住』:通常  
『認』:認定住宅  
『増』:特定の増改築  
『震』:震災被害者の再取得  
その他、区分により(特)等を併記  
※誤った選択をすると住民税に影響する恐れがあります。

年末調整において、社会保険料控除とした国民年金保険料や国民健康保険料がある場合はその金額を記載してください。

受給者の生年月日を必ず記載してください。

※支払を受ける者の住所、氏名、生年月日はよくご確認のうえ必ず記入してください。記載漏れや誤りがあった場合、本人の特定ができず支払者へ返送することがありますのであらかじめご了承ください。  
※令和5年度給与支払報告書より、給与受給者1人につき1枚の提出になっています。2枚提出しないようにご注意ください。